

平成 19-21 年度エゾシカ狩猟における輪採制の結果について（概要版）

北海道立総合研究機構 環境科学研究センター 稲富佳洋

1. 輪採制の方法（図 1）

- (1) 羅臼町及び斜里町をそれぞれ 2 つ又は 3 つの地区に区分し、斜里町の E 地区を除く各地区では狩猟期間中に 1 週間から 2 週間程度の禁猟期間を複数回設定した。
- (2) 狩猟者が出猟しやすい環境を維持するため、同じ町の地区間では禁猟期間が重複しないようにした。
- (3) 年度間での大きな変更点
 - 斜里町の E 地区では、平成 21 年度の可猟期間が従来の 2 月末から 3 月末まで延長された。
 - 羅臼町では、平成 19 年度には 1 つだった B 地区を平成 20 年度及び平成 21 年度は 2 地区（B1 及び B2 地区）に分割した。
 - 羅臼町では、平成 20 年及び平成 21 年度の禁猟期間の長さを 2 週間から 1 週間程度に短縮した。

2. 結果

(1) 捕獲数、狩猟努力量及び CPUE の推移（図 2）

- 捕獲数は、両町ともに輪採制導入前後でほぼ同程度だった。
- 羅臼町における平成 21 年度の捕獲数は、平成 19 年度より少なく、平成 20 年度と同程度だった。
- 斜里町における平成 21 年度の捕獲数は、輪採制導入後で最も少なくなり、特に C 地区での減少が顕著だった。
- 狩猟努力量は、輪採制導入前後でほぼ同程度だったものの、平成 21 年度は両町とも 6 年間で最も少ない狩猟努力量となった。
- 平成 21 年度の狩猟努力量は、羅臼町の B2 地区、斜里町の C 地区での減少が顕著だった。
- B 区と C 区を除く CPUE は、平成 18 年以降に上昇傾向が見られた。
- C 地区の CPUE は 2 年連続の減少となったが、地区間で比較すると、すべての年度で最も高い CPUE を示した。

(2) 狩猟努力量に占める町内狩猟者の割合（図 3）

- 狩猟努力量に占める町内狩猟者の割合は、羅臼町に比べて斜里町で高かった。
- 町外狩猟者による狩猟努力量の割合は、輪採制の導入前後でほぼ同程度であった。

(3) SPUE の推移（図 4）

- 平成 21 年度の SPUE は、C 地区を除くすべての地域で、平成 20 年度より上昇した。
- C 地区では、2 年連続で SPUE が減少し、平成 21 年度は、全地区で 2 番目に低い水準となった。

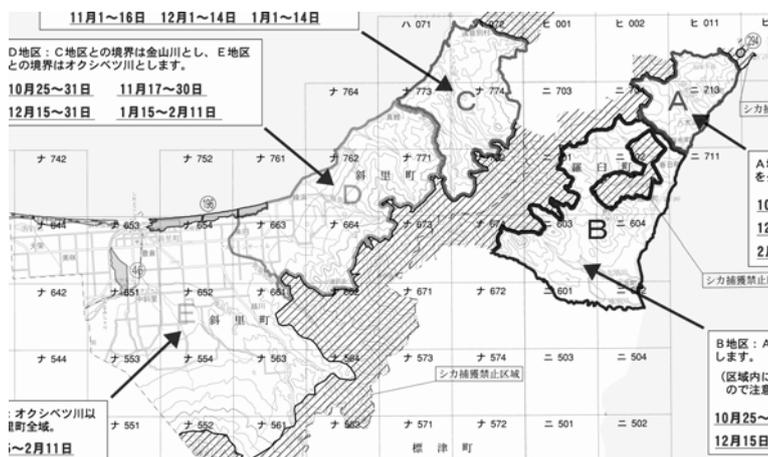
(4) 期間別 CPUE の推移（図 5）

- C 地区では、平成 19 年度及び平成 20 年度とも共通して、禁猟期間を挟むと捕獲効率が回復する傾向が見られたものの、平成 21 年度はその傾向が不明確であった。
- C 地区では、平成 19 年度及び平成 20 年度とも共通して、可猟期間の後半に捕獲効率が低下する傾向が見られたものの、平成 21 年度は反対に後半の捕獲効率が上昇した。
- C 地区以外では、どの年度においても特徴的な傾向を把握することができなかった。

3. まとめ

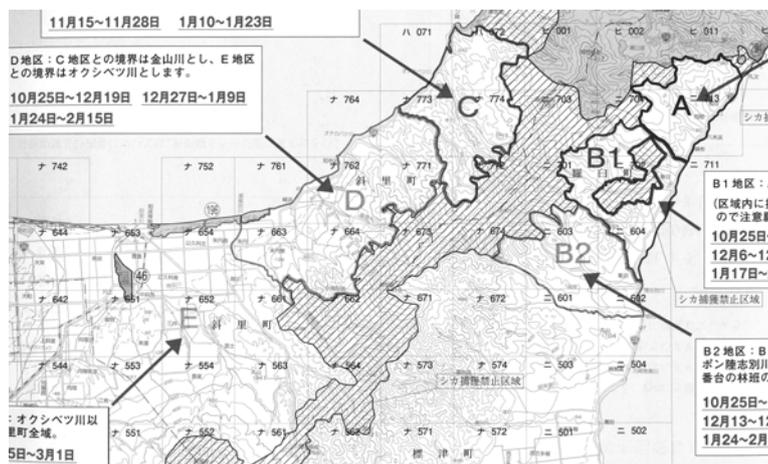
- (1) 輪採制の導入による捕獲数や狩猟努力量の減少、町外狩猟者の流出などのデメリットは確認されなかった。
- (2) 平成 21 年度の狩猟努力量は、ほとんどの地区において輪採制開始 1 年目（平成 19 年度）の数値を下回った一方で、輪採制導入後の CPUE には上昇傾向が見られた。
- (3) 禁猟期間の設定による捕獲効率の回復及び可猟期間の後半における捕獲効率の低下が、平成 19 年度及び平成 20 年度では C 地区で確認されたものの、平成 21 年度には見られなかった。
- (4) C 地区では、年々、捕獲数、狩猟努力量及び CPUE が減少しており、狩猟解禁の効果が弱まってきていることが示唆されたが、捕獲効率は、依然として他地区より高いため、C 地区の開放を続けることが重要だと思われる。また、C 地区では、他地区と異なり SPUE が減少していることから、狩猟解禁によって密度が低下している可能性も考えられる。

H19年度



H19年度	11/1	11/17	12/1	12/15	1/1	1/15	2/1	2/12
狩猟期間	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
A								
B								
C								
D								
E								

H20年度
H21年度



H20年度	11/1	11/15	11/29	12/13	12/27	1/10	1/24	2/9	2/23
狩猟期間	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
A									
B1									
B2									
C									
D									
E									

H21年度	10/31	11/14	11/28	12/12	12/26	1/9	1/23	2/8	2/22	3/28
狩猟期間	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
A										
B1										
B2										
C										
D										
E										

図1 知床半島基部における輪採制の区域及び可猟期間

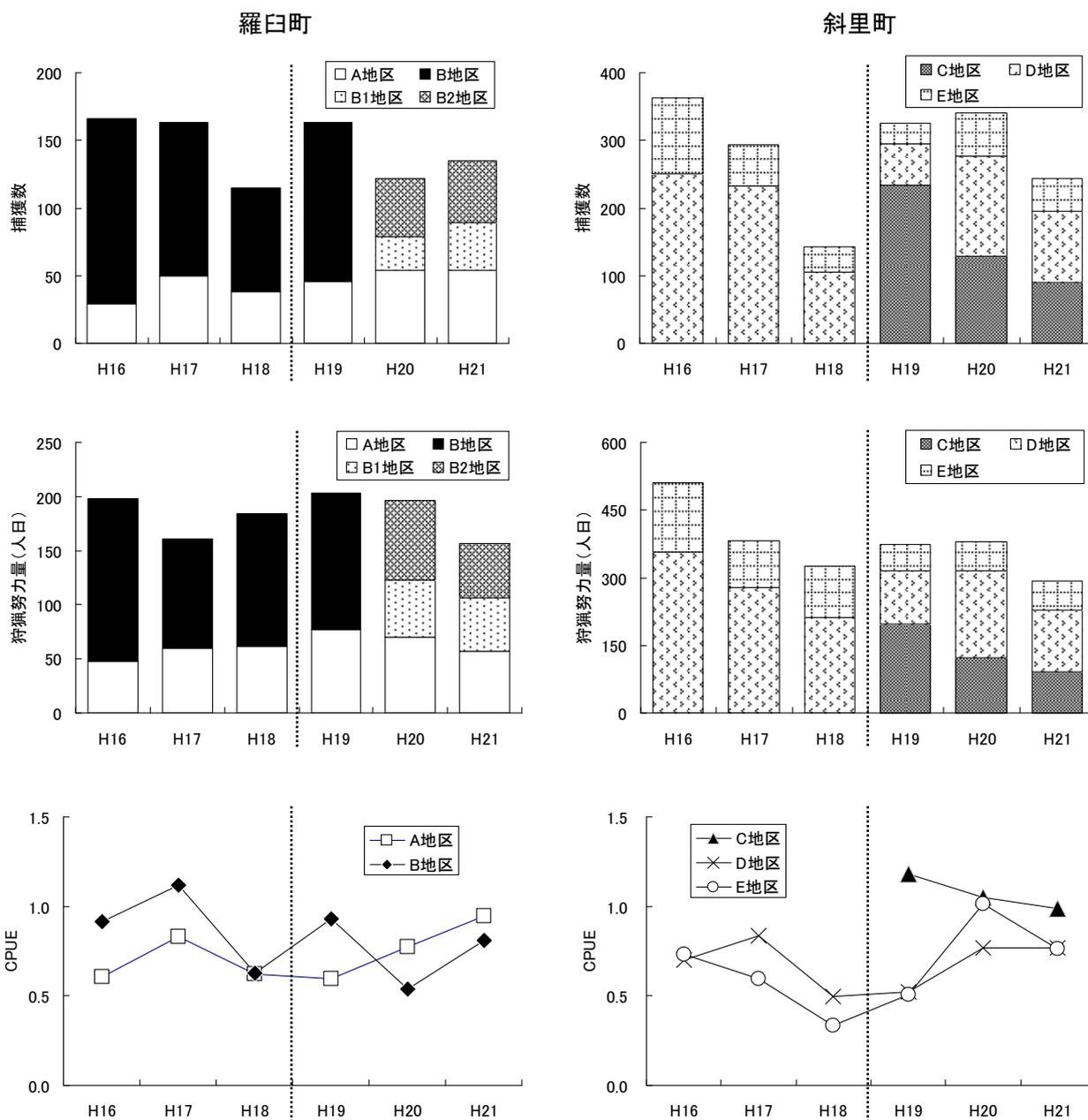


図2 羅臼町及び斜里町における平成16年度から平成21年度までの捕獲数、狩猟努力量及びCPUEの推移。

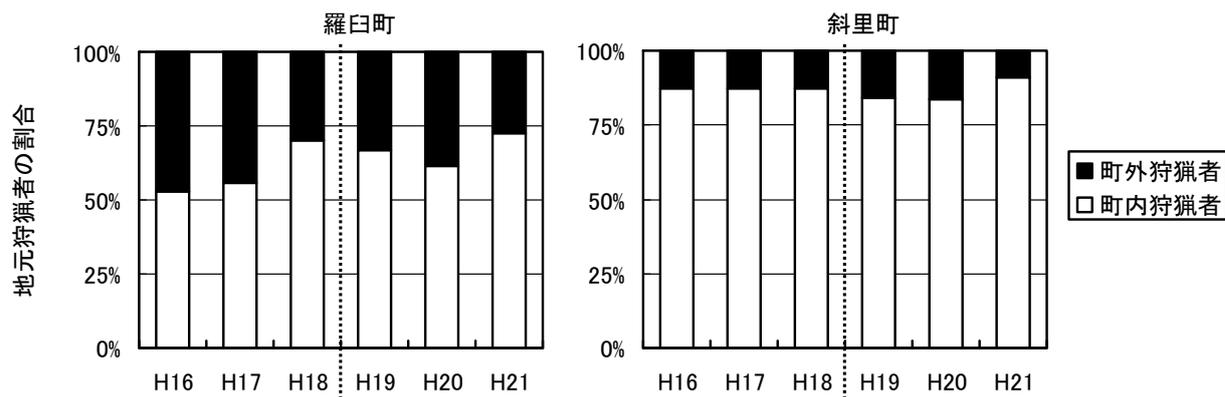


図3 羅臼町及び斜里町の狩猟努力量に占める町内狩猟者と町外狩猟者の割合。

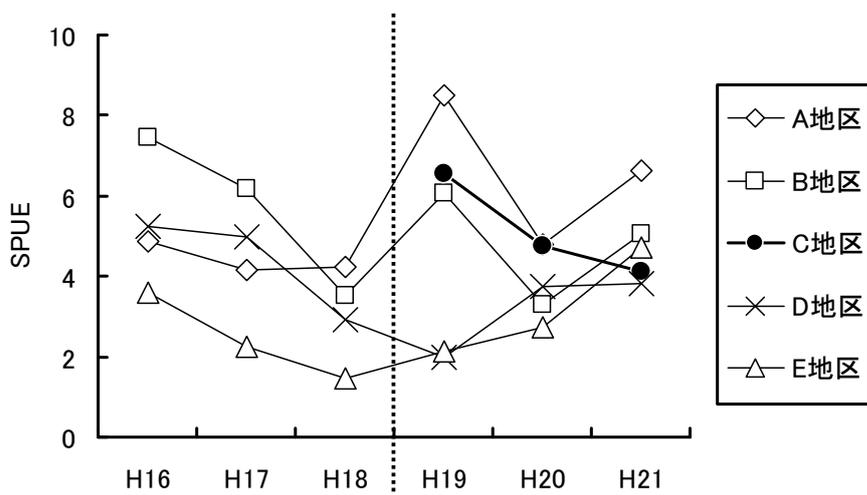


図4 各地区におけるSPUEの推移。

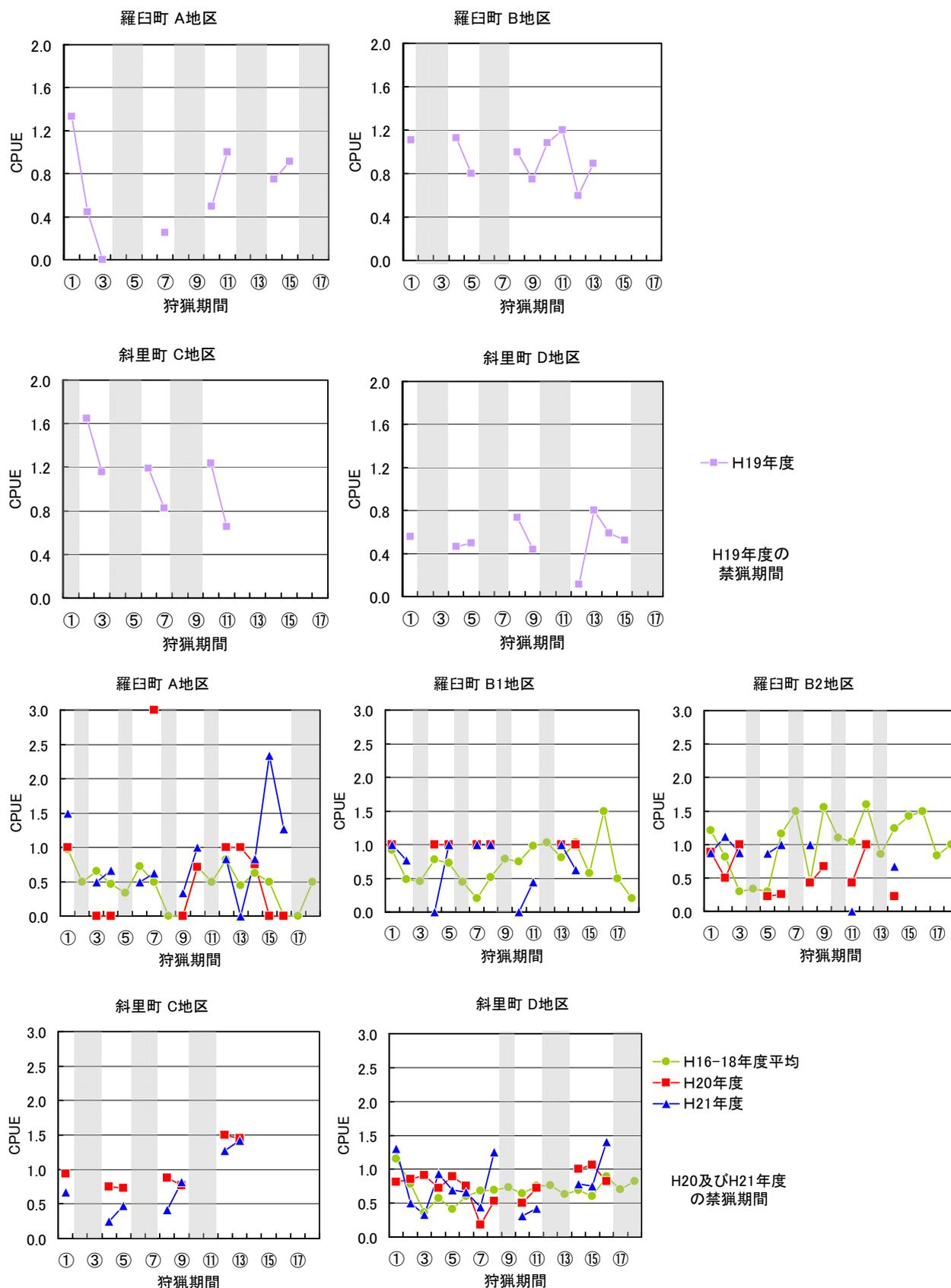


図5 各地区における任意の期間で区切ったCPUEの推移。図中の①～⑰は、図1に記載されている狩猟期間を示す。